

令和 4 年度 宇都宮市立一条中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

豊かな心と健やかな体を持ち，自ら考え行動するなど，意欲を持って自主的・創造的に生きることができ，日本はもとより国際社会に貢献できる人間を育成する。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・自ら学び自ら考える生徒（知）
- ・認め合い協力する生徒（徳）
- ・明るくたくましい生徒（体）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ「あたたかい学校・活力のある学校・地域と共に歩む学校」

生徒一人一人を目指す生徒像に近づけるためには，地域学校園の小中学校，家庭，地域が連携しながら，それぞれの力を発揮していくことが重要である。本校がその核としての役割を自覚し，関わる人々が誇りに思う学校となれるよう，目指す学校像（3つの柱）を掲げる。

- ・明るいあいさつにあふれ，互いに認め，励まし，称え合える，「あたたかい学校」
- ・地域社会や未来を見据え，子どもや教職員のよさが十分に活かされる，「活気のある学校」
- ・生徒や保護者，教職員が誇りに思い，地域に愛され信頼される，「地域と共に歩む学校」

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）あたたかい学校

- ・心の教育，望ましい人間関係づくりを図る
- ・特別支援教育の視点を十分に生かす
- ・花と緑を大切にしたい潤いのある環境を整備する
- ・教職員の団結と健康管理に努める

（2）活力のある学校

- ・学級指導の充実にも努める
- ・体力・気力の向上と健康教育を推進する
- ・学びやすい，生活しやすい環境を整備する
- ・職員が働き甲斐のある職場づくりに努める

（3）地域と共に歩む学校

- ・地域をフィールドにした学習活動を進める
- ・地域の人材，資源を活用した教育を推進する
- ・学校支援団体との連携強化に努める
- ・地域に根差した ESD を推進する

[一条中学校地域学校園教育ビジョン]

基本をしっかり身に付け，地域に生きる子どもを育む一条地域学校園

4 教育課程編成の方針

Society5.0 の到来を見据え，ユネスコスクールとしての自覚と ESD（防災・平和・福祉等）の推進により，奉仕の精神と協力する態度，主体的に行動する力を育成できるよう，教育課程と指導体制を工夫する。

- （1）日本国憲法，教育基本法，学校教育法及び学習指導要領の関係法令，および県教育行政基本方針，市教育委員会管理運営規則，市学校教育スタンダードの示すところに従って編成する。
- （2）地域や学校の実態を踏まえ，生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮しながら，人間として調和のとれた育成を目指して特色のある教育課程を編成する。
- （3）市の小中一貫教育，GIGA スクール，宇都宮学等の趣旨を生かした教育活動全般にわたるカリキュラムマネジメントを行い，適切な指導が図れるよう配慮して編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- （１）学校運営 ～教育目標の達成を目指すチーム学校づくり～
- ・生徒や家庭、地域、関係期間等と学校教育目標や学校経営の理念を共有し、その達成に向かう集団づくりを進める。
 - 教職員が一丸となって学業指導にあたるとともに、業務の効率化と働き方改革を進める。
 - ・学校の公開や情報発信を積極的に行いながら、地域に愛され信頼される開かれた学校づくりを進める。
- （２）学習指導 ～子どもが意欲的に取り組む授業、学びに向かう集団づくり～
- 主体的、対話的で深い学びを実現するための授業改善を図る。
 - ・習熟度学習、ＴＴ、ICT 機器の利点を生かし、学ぶ意欲の向上を図る。
 - ・読書活動、新聞活用（ＮＩＥ）を充実し、広い視野と思考力・判断力・表現力を育成する。
 - ・ユネスコスクール、ESD の理念を生かした学習活動を推進する。
- （３）児童生徒指導 ～ともに成長できる集団づくりと自己指導能力の育成～
- 特別支援教育の視点を活かし、自己肯定感、自己有用感をはぐくむ教育相談に努める。
 - ・共に課題に立ち向かい、互いに認め、励まし、称え合うことで、自他共に成長できる集団づくりを推進する。
 - ・自ら考え、判断し、責任を持って実行できる自己指導能力の育成・向上を図る。
 - ・困難を克服し失敗から立ち上がる力（レジリエンス）の育成に努める。
- （４）健康（体力・保健・食・安全）～強い体、折れない心、健康的な生活習慣の育成～
- 基礎体力の向上と持久力を養うための活動を工夫改善する。
 - ・カリキュラムマネジメントにより、健康、食育、安全に関する指導の充実を図る。
 - ・感染症対策や防災教育を通して、危機に対応できる能力の育成を図る。

6 自己評価（評価項目のＡは市共通、Ｂは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、Ａ拡充 Ｂ継続 Ｃ縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	Ａ１ 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答９０％以上	単位時間における授業のねらいの明確化と、個に応じた指導をすることで、進んで学習に取り組めるよう工夫する。 多様な学び合いの場を設定することで、進んで学習に取り組めるよう工夫する。		
	Ａ２ 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 肯定的回答８５％以上	主体的・対話的で深い学びにつながる道徳の授業の実践やそれを生活と結びつけることで、生徒の道徳力を向上させる。		
	Ａ３ 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 肯定的回答９０％以上	毎月の生活目標を示して目標ある生活をさせるとともに、全教職員の共通理解を図り、生徒指導に当たる。 生徒主体の活動において、生活目標や生活上の課題などを自分事としてとらえられるような取組を設定し、支援を工夫する。		
	Ａ４ 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 肯定的回答８０％以上	あいさつ運動の推進などで時と場に応じた言葉遣いやあいさつができるようにする。		

A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答 85%以上	自分の良さや個性を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画させることで、その達成に向けてあきらめず努力する力を高める。		
A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 肯定的回答 90%以上	保健体育の授業において、段階的な指導の工夫とわかりやすい指導を工夫することで、生徒の興味・関心を高める。		
A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 肯定的回答 85%以上	発達段階に応じたキャリア教育を行うことで、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力を育成する。		
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	外国語の授業や総合的な学習の時間などでの言語活動の充実を図る指導によってコミュニケーション能力を高める。		
A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	総合的な学習の時間（宇都宮学）や地域ボランティアに参加することによって宇都宮の良さを多く体験・実感できるように工夫する。		
A 10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	読書活動や各教科での ICT 機器の積極的な推進で、ICT 機器や図書等を学習に活用する力を高める。GIGA スクール構想が具現化できるよう、積極的にパソコンを活用する。		
A 11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 肯定的回答 85%以上	地域学校園全体で効果的な道德教育を行い、それを地域学校園で実践することで、地域の高齢者に対する感謝やいたわりの気持ちを高める。		
A 12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	ボランティア活動や、NIE 活動などを通して現在直面している諸問題に関して前向きに考えていく力を育てる。		
B 1 生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 肯定的回答 80%以上	各小学校や地区主催のボランティア活動などに、積極的に参加する。 JRC 委員会を中心に、地区体育祭等の係として積極的に参加する。		

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	教育相談部会において情報交換をしつかり行くと共に、報・連・相を確実にしながら素早く対応する。		
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	いじめ撲滅集会や道徳での計画的な学習によって、いじめが許されない行為であることを実感する機会をより多くつくる。		
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 肯定的回答85%以上	教育相談や家庭訪問等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決をめざす。		
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	国際交流協会指導員や日本語指導員との連携や家庭との連携を密にとることで、適切な対応支援する。		
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	教師自らあいさつや声掛けをし、よりよい人間関係を醸成するとともに、学級経営や教育相談を充実させ、「居がい」のある学校づくりに努める。		
	A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 肯定的回答85%以上	前時の復習としての小テストを実施するなど、基礎・基本の定着を図る。 教員全員が年1回以上授業を公開し、互いに参観することによってOJT型研修を充実させ、指導力の向上を図る。		
	A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	教育目標及び学校経営の方針を全職員が意識し、全教育活動でそれが生かせるように活動しながら業務を進めるようにする。		
	A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答80%以上	従来の業務内容をもう一度見直し、教員の業務内容の精選を行う。 部活動地域指導者を有効活用した部活動の充実を図る中で、教員の業務縮減を行う。		
	A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 肯定的回答85%以上	地域学校園各部会取組の充実を図る。 (・学習部会・生活部会・健康、体育部会・地域学校園事務室部会)		

	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 肯定的回答80%以上	地域コーディネーターと連携し、地域協議会活動の有効活用や学校支援の取り組みを推進する。		
	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答80%以上	家庭訪問、保護者会、三者懇談、オープンスクール等を活用し、保護者との連携を図る。 地域コーディネーターと連携し、地域協議会活動の有効活用や学校支援の取り組みを推進する。また、PTAとの連携を深め、学校運営の充実を図る。		
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	避難訓練や防災訓練を行うことで安全に関する知識を高め、安全点検を毎月確実に行い、修繕箇所を早めに修繕する。		
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 肯定的回答80%以上	図書の希望調査やICT機器の整備を積極的に行い、効率的に利用できるようにする。		
	B2 教職員は、あいさつや対応が丁寧で誠実である。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	誰に対しても気持ちのよいあいさつを教職員自ら率先して行い、誠実に接するよう努める。		
本校の特色・課題等	B3 学校は、「強い体、折れない心、健康的な生活習慣」の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	朝のランニング等、生徒の体力向上を目指した活動の工夫をしていく。 保健だよりや健康チェックシートで生徒に健康的な生活習慣を意識づける。		

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

--

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

--